

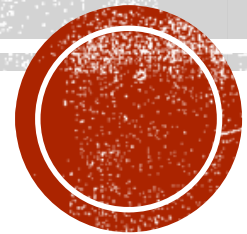
10

ソフトウェア工学

Software Engineering

# ソフトウェアモデリング

SOFTWARE MODELING



# ソフトウェアモデリングとは？

ソフトウェアの抽象なモデルを，さまざまな視点から簡潔に表現する作業

## 【表現方法】

- **グラフィカルモデル**：所定の記法による図で表現 → 流れ図，**クラス図**など
- **数理モデル**：数式や論理式で表現 → 形式手法（モデル検査など）

## 【視点】

- **外部**からの視点：ソフトウェアが利用される環境のモデル
- **相互作用**の視点：システム - 環境・利用者間，システム要素間の相互作用のモデル
- **構造**の視点：システムやデータの静的な構造のモデル
- **ふるまい**の視点：システムの動的ふるまい，イベントへの反応のモデル

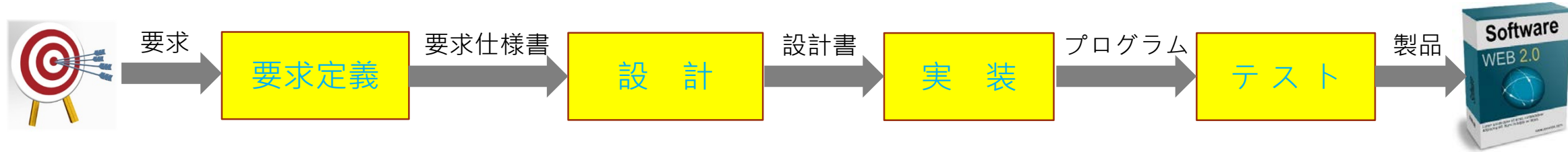


今回の授業では，**UML**を学ぶ

（さまざまな視点からの記法が**国際的に標準化されたグラフィカルモデル**）



# モデリングをいつおこない、いつ使うのか



## 【要求定義フェーズ】

- 既存システムのモデリング → 既存システムの明確化 ( 利点・欠点・再利用性 )
- 新システムのモデリング → 要求の導出と明確化 ( 関係者との対話・合意 )

## 【設計フェーズ】

- 新システムのモデル → エンジニアへの説明 ( 設計や文書化にモデルを利用 )

## 【実装フェーズ】

- 新システムのモデル → モデル駆動開発ではモデルから実装の一部を自動生成も (model-driven development)

## 【テストフェーズ】

- 新システムのモデル → モデルに基づいたテストケースの生成



# UML (Unified Modeling Language)

- ソフトウェアモデルを表現するためのグラフィカルモデリング言語の1つ
- 13の図式が規定されている
- 1990年代に提案された種々のオブジェクト指向モデリング図式を統一したもの
- 1997年に初版 UML 1.0 が公開
- 最新版は2015年に公開されたUML 2.5



# UMLの主な図式

■13の図式のうち、今回はつぎの5つを学ぶ

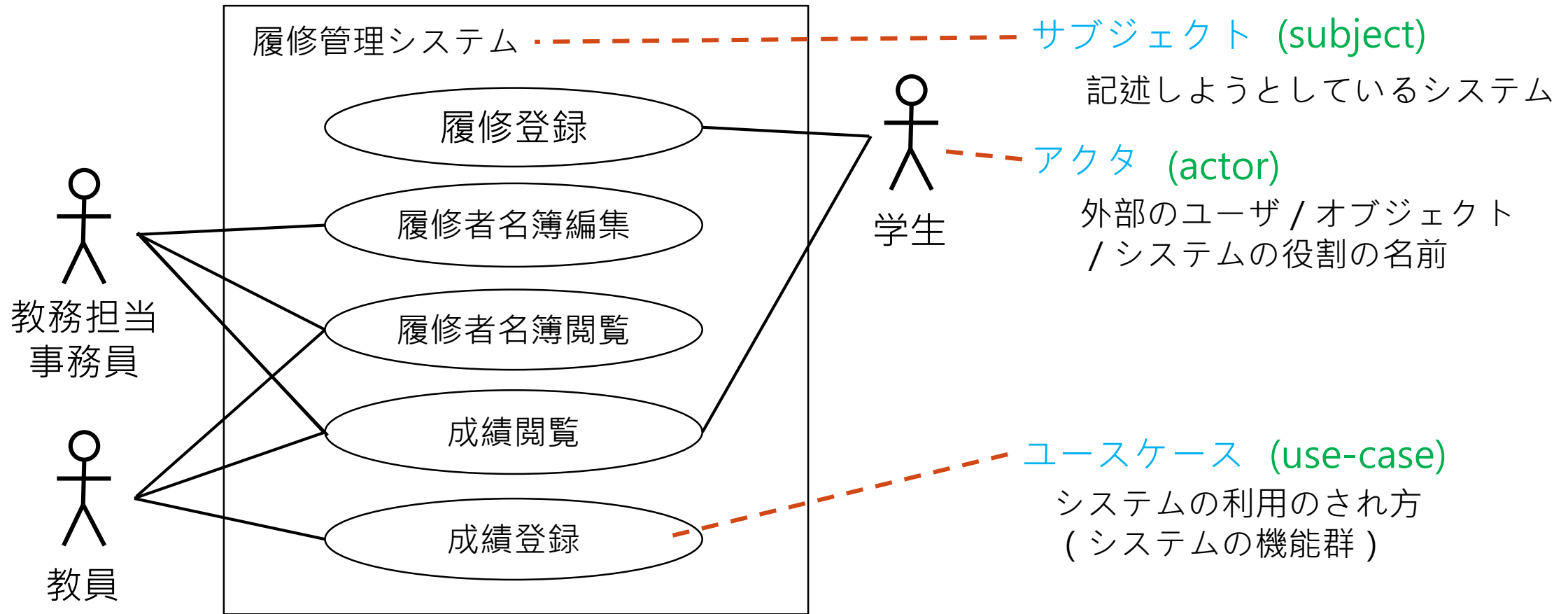
- ユースケース図 (use-case diagram) システムの機能群と利用者の関係
- クラス図 (class diagram) クラスの定義とクラス間の関係
- アクティビティ図 (activity diagram) システムがおこなう処理の流れ
- シーケンス図 (sequence diagram) オブジェクト間のメッセージ交換の順序
- 状態機械図 (state machine diagram) イベントに伴うオブジェクトの状態遷移



# ユースケース図

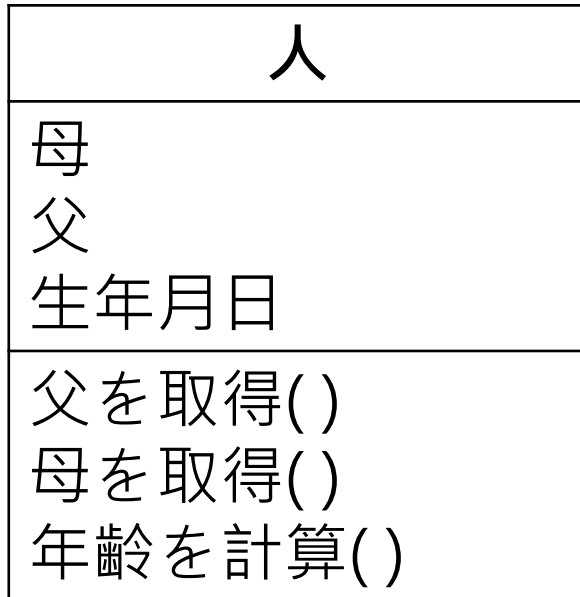
システムの機能群と利用者の関係を図示

## 【履修管理システムの例】



# クラス図 (1/9) クラスの定義とクラス間の関係を図示

## 【クラスの定義】（簡易版：要求定義段階）



クラス名

属性  
(attribute)

操作  
(operation)

Javaでは

フィールド(field)

C++では

メンバ変数(member variable)

抽象化され直接アクセスできないときは

プロパティ(property)

と呼ばれる

Javaでは

メソッド(method)

C++では

メンバ関数(member function)

と呼ばれる

※属性と操作は場合によっては省略可



# クラス図 (2/9)

【クラスの定義】（詳細版：プログラム設計段階）

Person	
- mother:	Person
- father:	Person
- birthday:	Date
+ getFather():	Person
+ getMother():	Person
+ getAge(today: Date):	int

クラス名

属性名: 属性の型

操作名(引数: 型): 戻り値の型

可視性 (visibility)

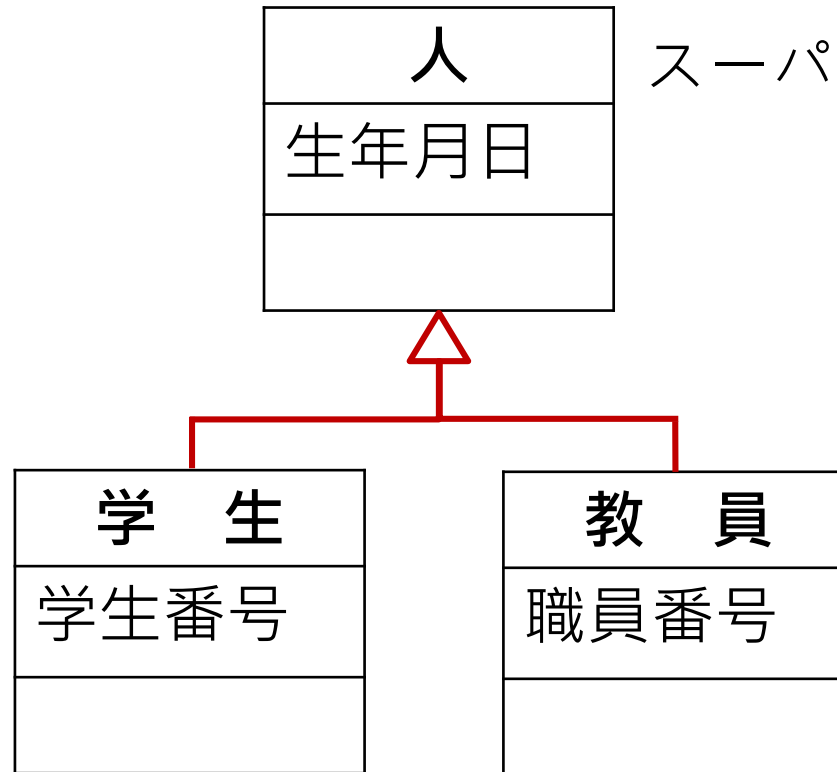
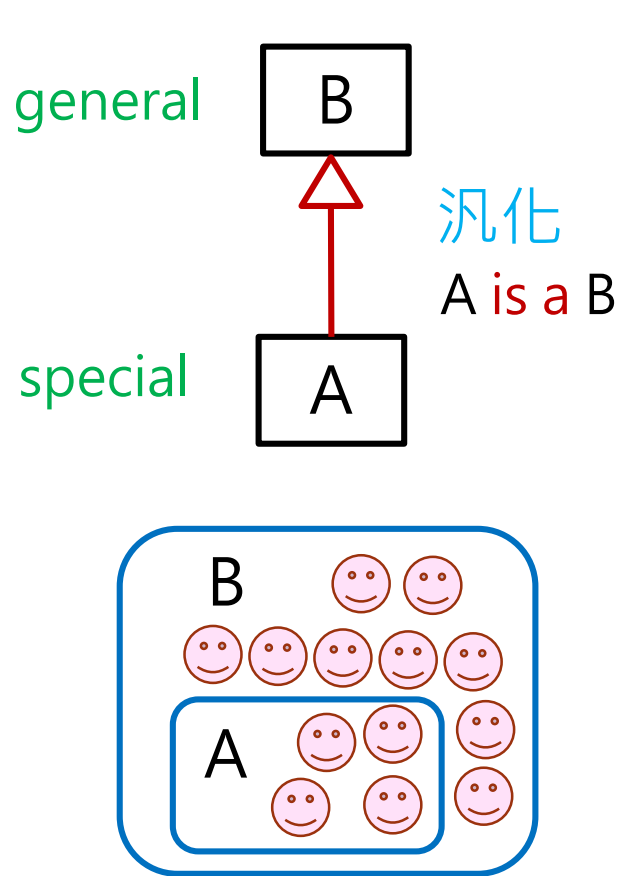
- private (外部からアクセス不可)
- + public (外部からアクセス可能)





# クラス図 (3/9)

## 【クラス間の関係：汎化】 (generalization)



サブクラス

### 【継承】 (inheritance)

- スーパークラスの属性と操作は引き継ぐ
- 新しい属性と操作を追加可能



# クラス図 (4/9)

## 【クラス間の関係：関 連】 (association)

A is associated with B

多重度 (multiplicity)

クラスAのインスタンスを1個固定したとき  
クラスBのインスタンスがn個対応

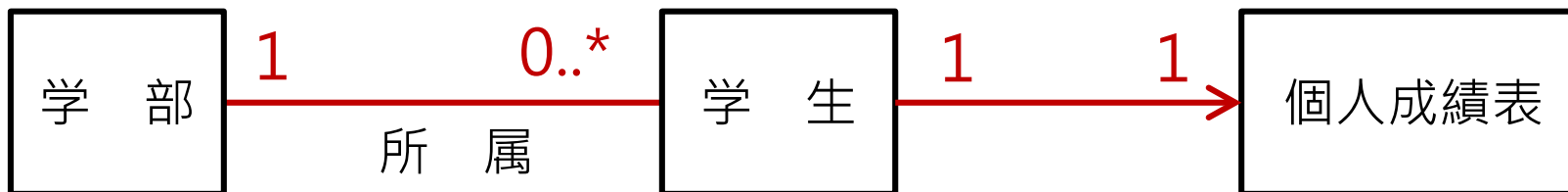


n	必ず n
n..m	n 以上 m 以下
0..* または *	0 以上
1..*	1 以上



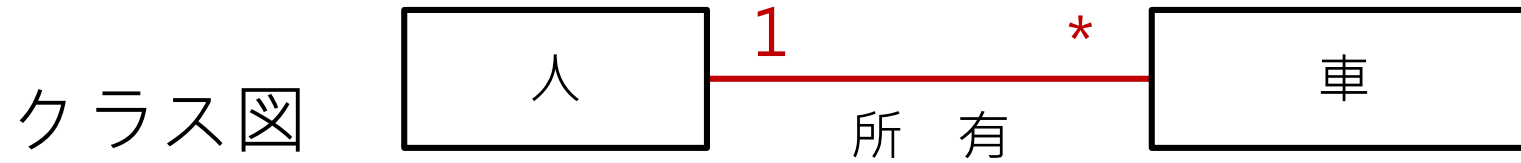
誘導可能 (navigability)

クラスAのインスタンスからクラスBのインスタンスにアクセスできる



# クラス図 (5/9)

## 【オブジェクト図】 (object diagram)



### オブジェクト図

クラス図の表す抽象構造  
の1つの具体例の表示



インスタンス名 : クラス名  
に下線を引く

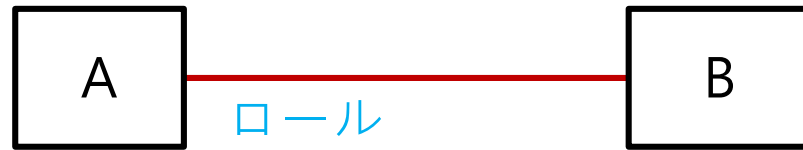


リンクでインスタンスを結ぶ

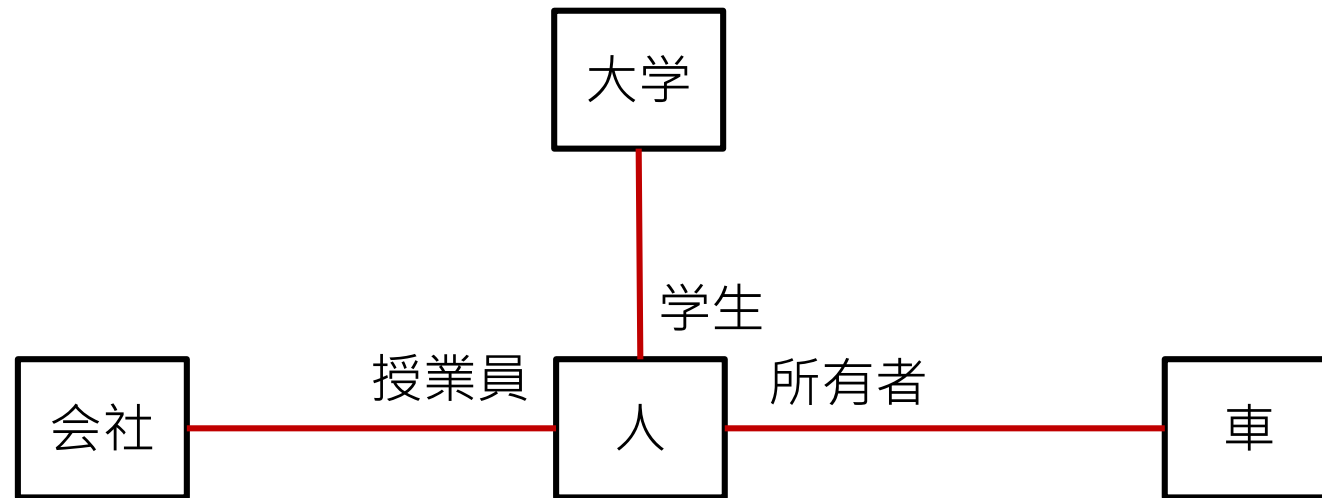


# クラス図 (6/9)

【ルール】  
(role)

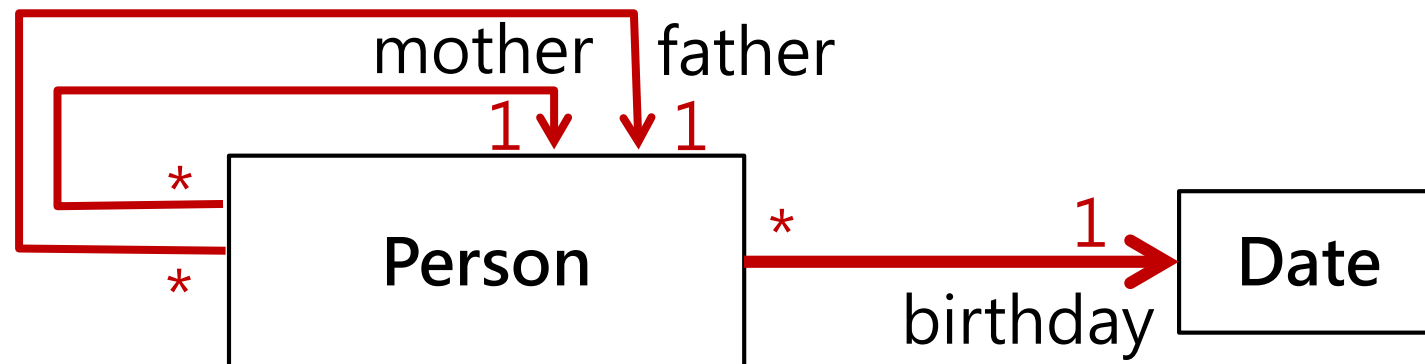
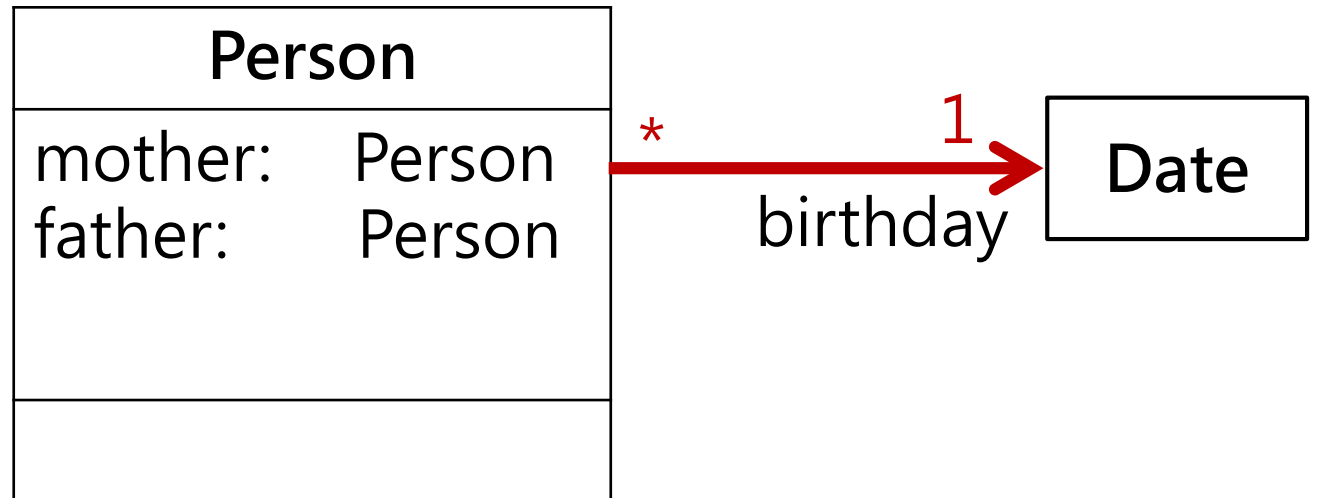
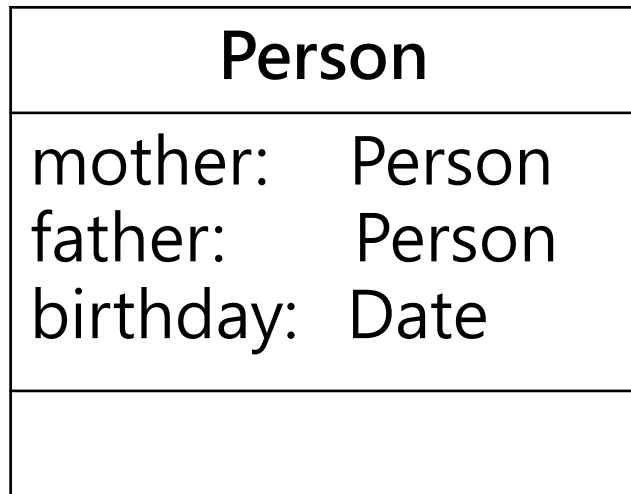


この関連においてクラスAが果たす役割



# クラス図 (7/9) 【属性 / 関連】

属性・関連：どちらで表現してもよい / 混在させてもよい



# クラス図 (8/9)

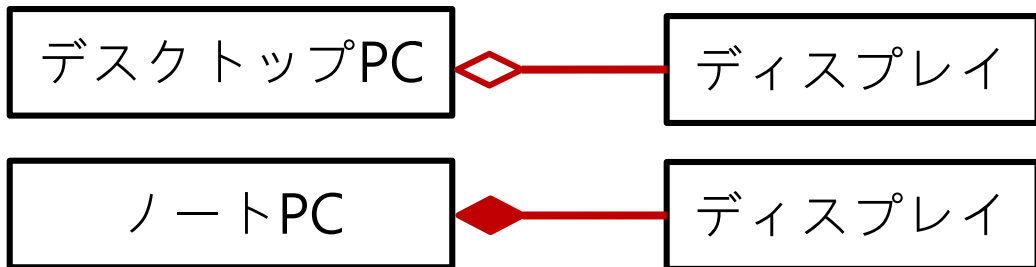
## 【集約 / コンポジション】 (aggregation / composition)

A has a B

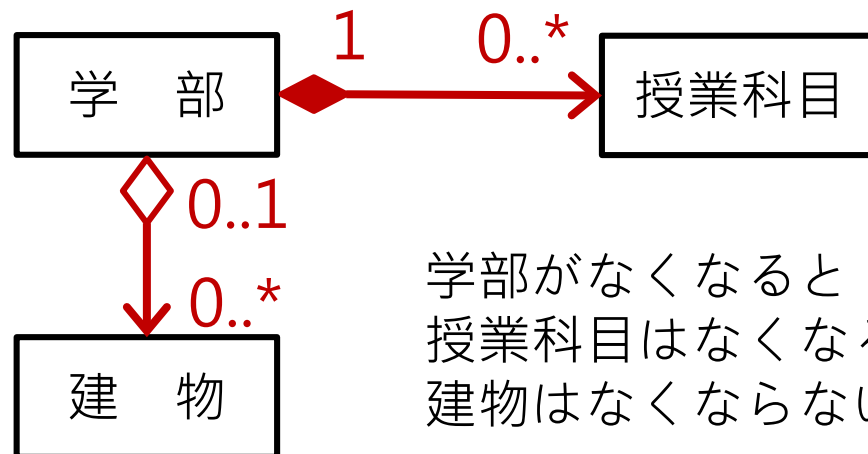


全体 - 部分 の関係 (whole-part)  
クラスBはクラスAの一部

強い集約関係  
クラスAのインスタンスが削除されると  
クラスBのインスタンスも削除



PCを廃棄するとき、ディスプレイも廃棄？  
デスクトップPC: NO  
ノートPC: YES

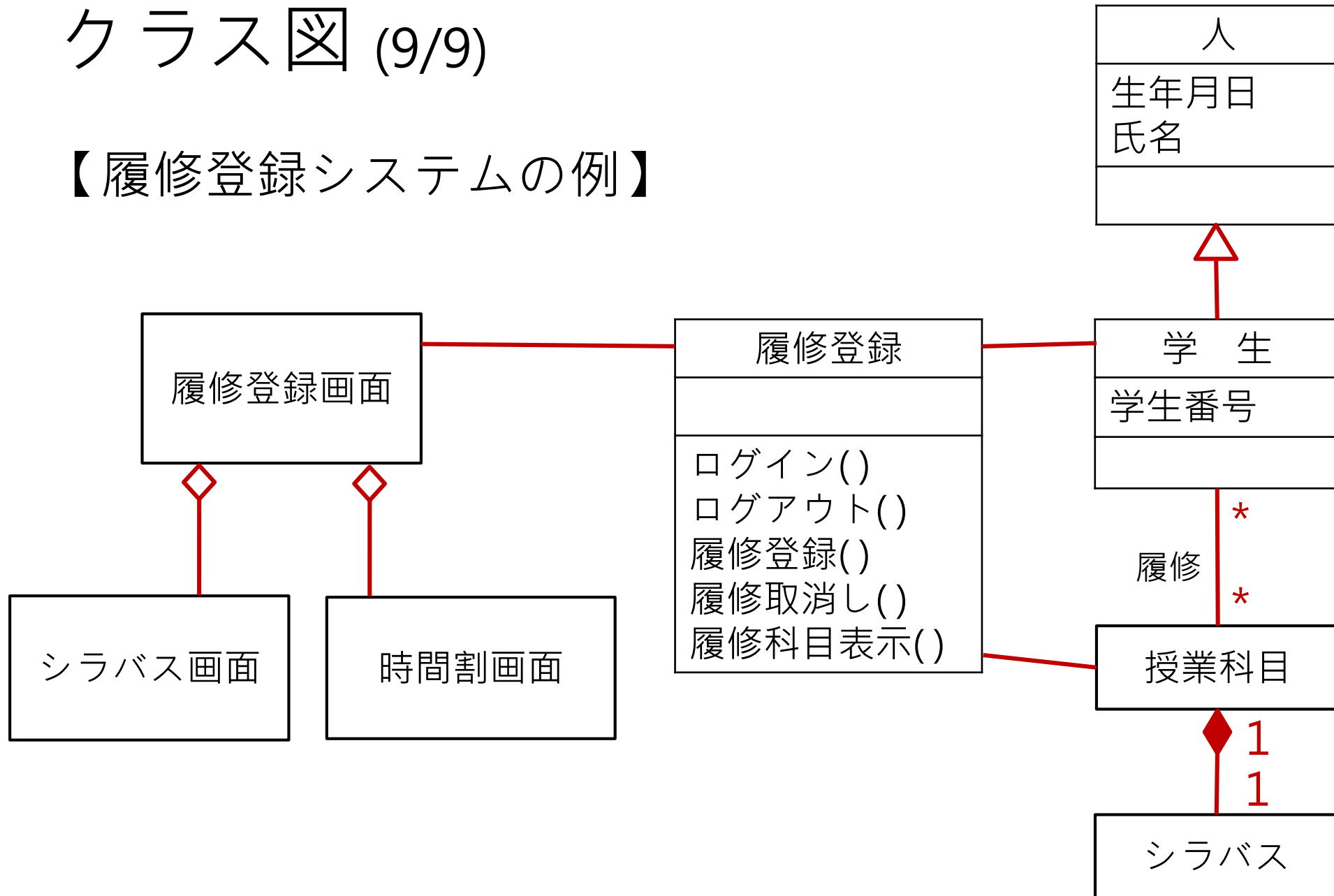


学部がなくなると  
授業科目はなくなるが  
建物はなくなる



# クラス図 (9/9)

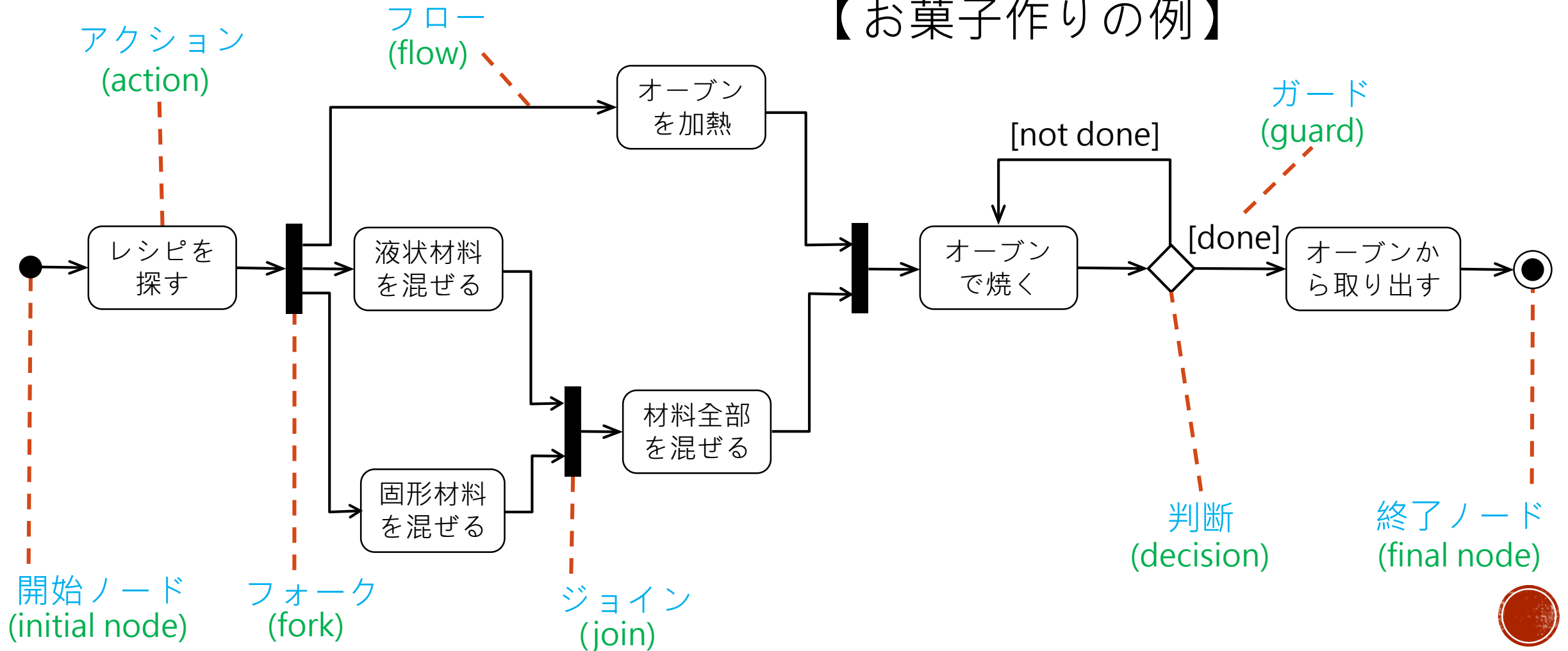
## 【履修登録システムの例】



# アクティビティ図 (1/2) システムがおこなう処理の流れを図示

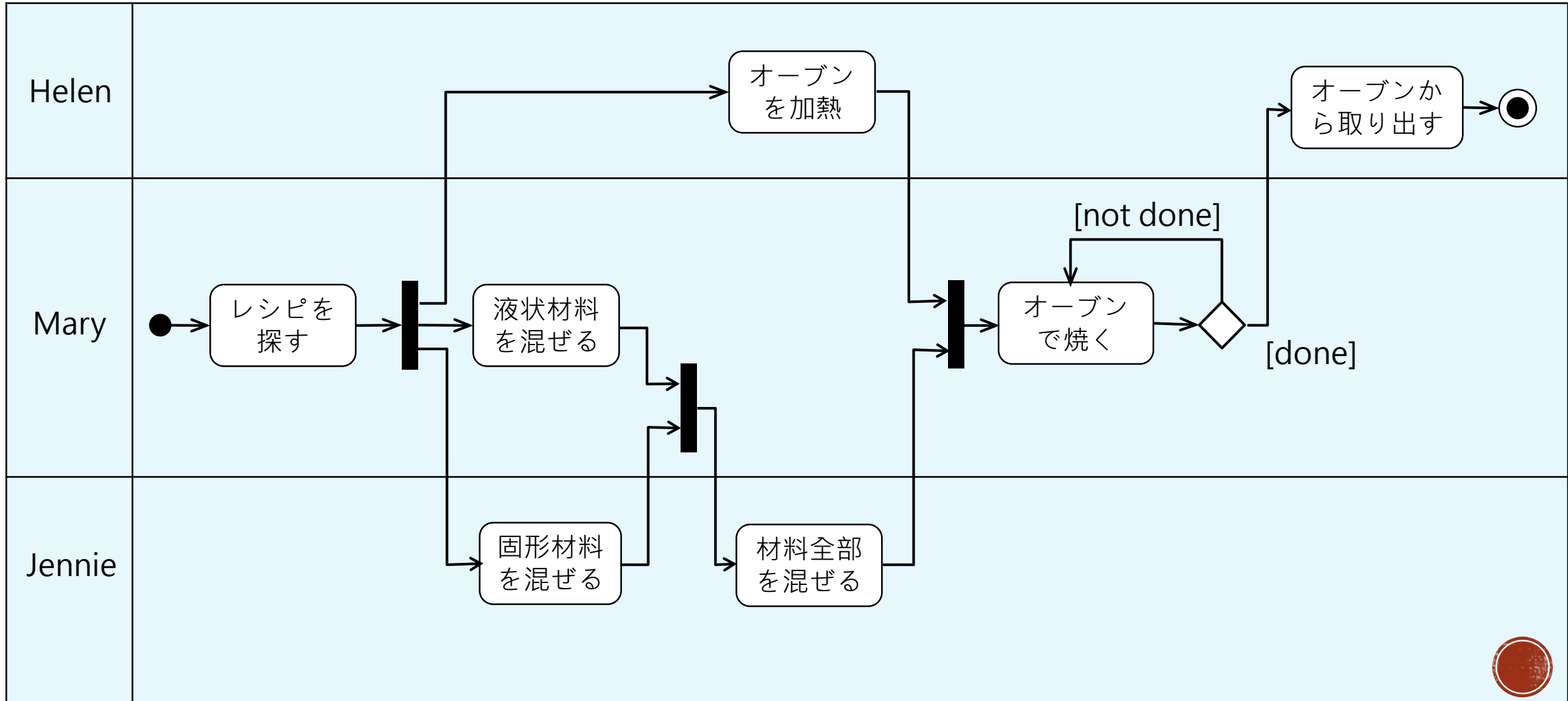
アクティビティ：システムの振る舞いをアクションのフローとして記述したもの (activity)

## 【お菓子作りの例】





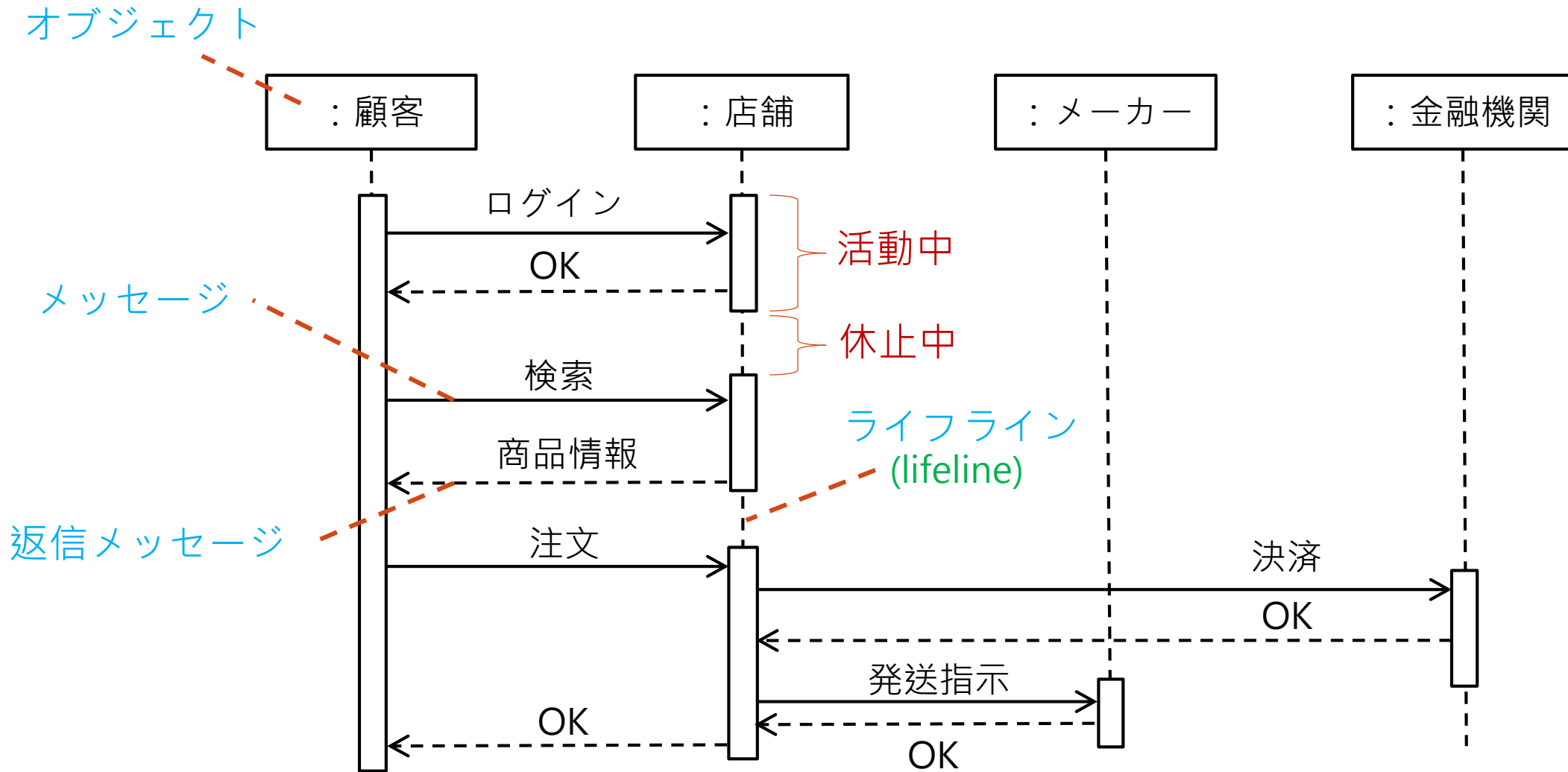
# アクティビティ図 (2/2) スイムレーンによる実行主体の明示 (swimlane)



# シーケンス図

オブジェクト間のメッセージ交換の順序を例示

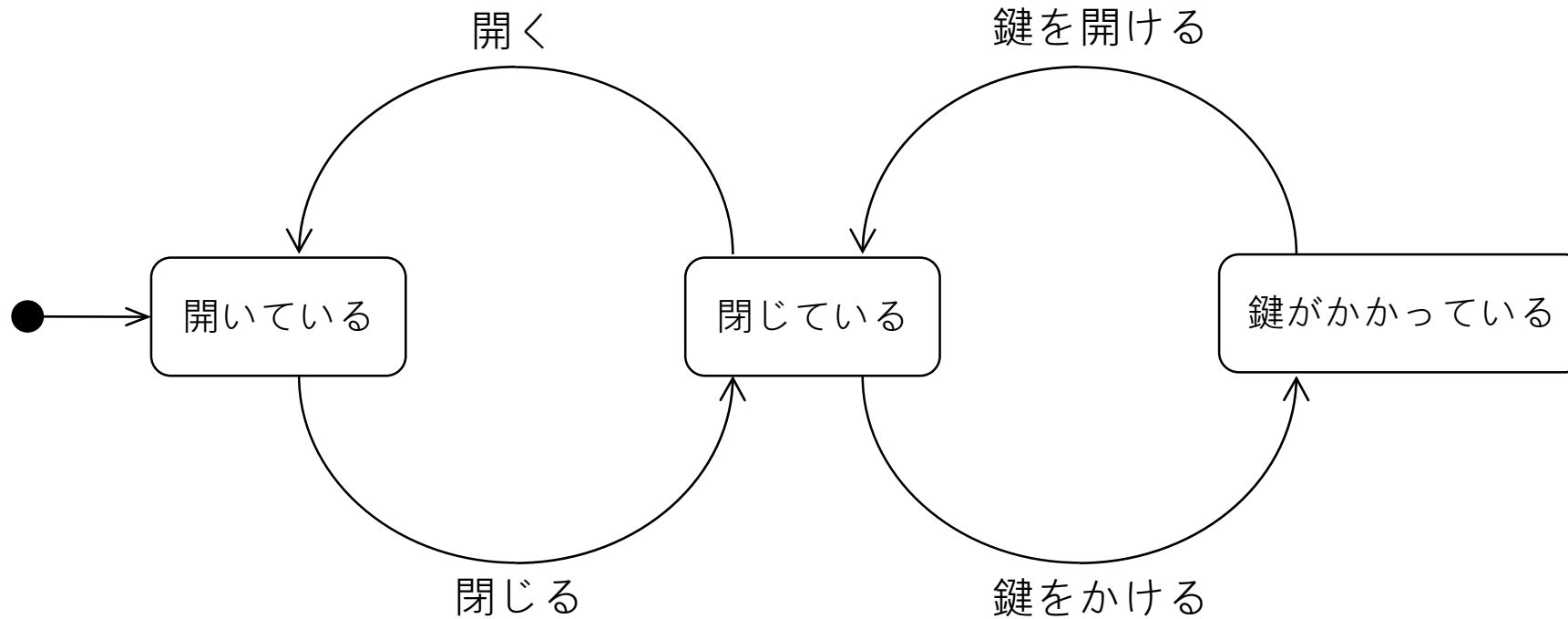
## 【オンラインショッピングの例】



# 状態機械図

イベントに伴うオブジェクトの状態遷移を図示

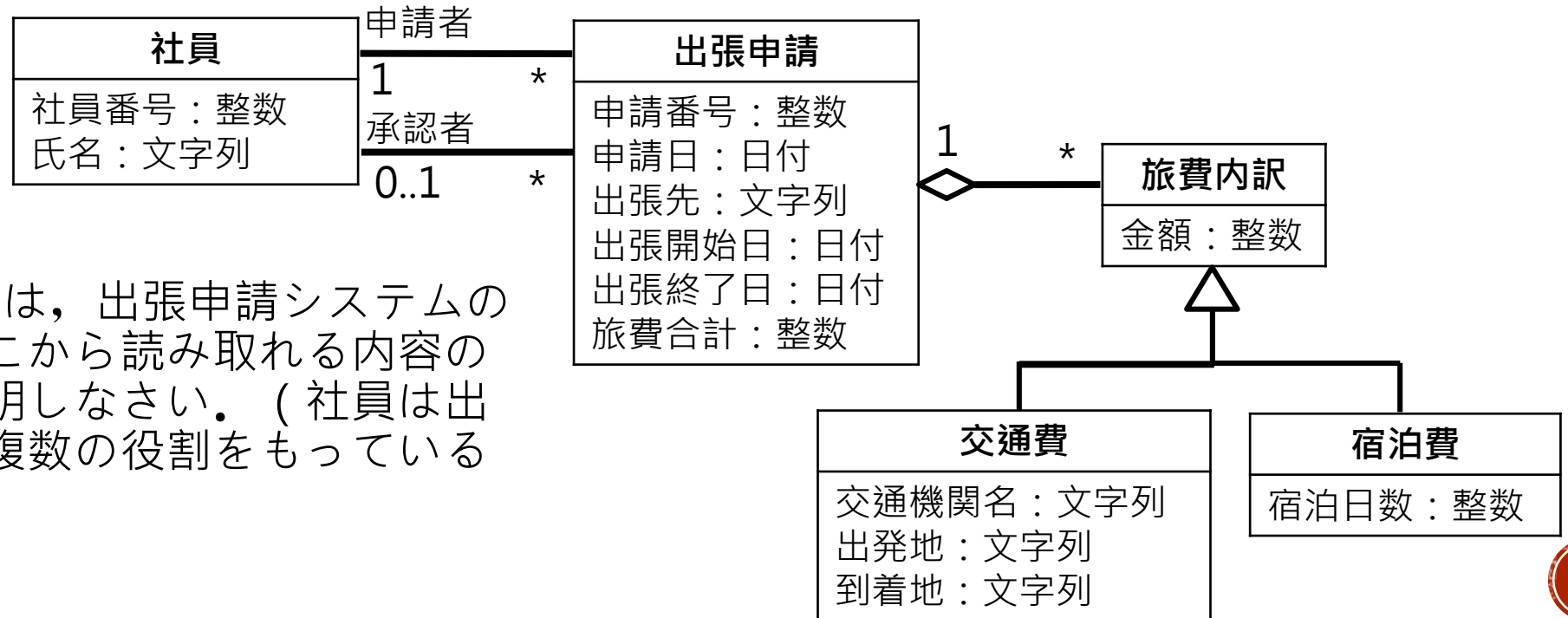
## 【ドアの例】



# 演習問題 10

(1) つぎのシステムのユースケース図を作成しなさい。

チケット予約システムは、チケットのオンライン予約を管理するものである。利用者は、チケットの予約、支払い、予約状況の確認、チケットの印刷を行うことができる。管理者は、販売可能なチケットの総数の設定、予約状況一覧表の表示、チケットの印刷を行うことができる。



(2) 右のクラス図は、出張申請システムの一部である。ここから読み取れる内容の概略を簡単に説明しなさい。(社員は出張申請に対して複数の役割をもっていることに注意)

